




2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 鉾田市立旭北小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	鉾田市立旭北小学校 テーマⅢ 第2学年1組 10名, 第3学年1組 15名 第6学年1組 21名 テーマⅤ 第1学年～第6学年 全児童 81名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (学級活動・総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ オリンピアンとの交流の中で、実技指導並びに講演から、運動に対する興味関心を高め、体を動かすことへの意欲の向上と、オリンピック・パラリンピックに対する関心を高める。 ○ パラリンピアンとの交流をイメージしたり、パラ競技を体験したりすることを通して、パラリンピックへの興味関心を高めると共に、おもてなし(思いやり)の心を育成する。
5 取組内容	1 オリンピアンとの交流 「陸上競技 三段跳び 山下航平さん」を招聘 1) オリンピアンのすごさを体験しよう。(全児童) ・児童代表と山下選手とのハンディ競走  ・三段跳びの試技の見学(18mの世界を知る) ・速く走る方法を教わる 2) 努力することの大切さ ・子ども時代からこれからの夢まで ・オリンピックの感動と今後の挑戦 2 「I'm POSSIBLE」の活用 1) 「パラリンピアンが学校へやって来た」6年・総合的な学習 2) 「パラリンピックって何だろう」2年・道徳 3 パラ競技「ボッチャ」の体験(パラ競技への関心を高める)

	 <ul style="list-style-type: none"> •パラリンピックでの選手や競技の様子を視聴する。真剣な眼差し、「競技」に触れる。 •ボッチャで楽しもう！（全児童、体育、学級活動） •オリジナルルールを考えよう。 <p>4 学校図書館に「オリンピックコーナー」を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> •昼休みに多くの児童が読んでいた。写真も多く、これまで知らなかった競技や、パラスポーツについての関心を高めることができた。 																				
<p>6 主な成果</p>	<p>○アンケートによる児童の意識の変容 4～6年対象「とても」と回答した%（実施前 → 実施後）</p> <table border="1"> <tr> <td>① オリンピックに興味がありますか</td> <td>46.5</td> <td>→</td> <td>67.4</td> </tr> <tr> <td>② パラリンピックに興味がありますか</td> <td>34.8</td> <td>→</td> <td>67.4</td> </tr> <tr> <td>③ オリパラのイベントに参加したいか</td> <td>46.5</td> <td>→</td> <td>60.4</td> </tr> <tr> <td>④ 社会や人の役に立つことをしたいか</td> <td>90.6</td> <td>→</td> <td>95.3</td> </tr> <tr> <td>⑤ 障害のある人と交流したいか</td> <td>69.7</td> <td>→</td> <td>88.3</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> •オリパラに対する興味関心はかなり高まった。オリンピックに教わった「走り方のコツ」は誰もが取り組める内容で、運動会でも多くの児童が意識していた。 •I'm POSSIBLE を活用しての道徳や学活は、障害のある人への見方・考え方を変化させるきっかけになったようである。 	① オリンピックに興味がありますか	46.5	→	67.4	② パラリンピックに興味がありますか	34.8	→	67.4	③ オリパラのイベントに参加したいか	46.5	→	60.4	④ 社会や人の役に立つことをしたいか	90.6	→	95.3	⑤ 障害のある人と交流したいか	69.7	→	88.3
① オリンピックに興味がありますか	46.5	→	67.4																		
② パラリンピックに興味がありますか	34.8	→	67.4																		
③ オリパラのイベントに参加したいか	46.5	→	60.4																		
④ 社会や人の役に立つことをしたいか	90.6	→	95.3																		
⑤ 障害のある人と交流したいか	69.7	→	88.3																		
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> •オリンピックとできるだけ触れ合おうと、体を動かすことを中心に企画した。児童とのハンディ走では山下選手も必死に取り組んでくれた。運動会も近く、「速く走るコツ」の指導もとても良かった。 •映像等でボッチャへの関心をもたせたところでの体験で、各学年大いに盛り上がった。ルールも実技もすぐ覚えられるが、奥の深さも高学年では感じる事ができた。 																				
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> •小規模校であり、全児童とオリンピックの交流を企画したが、短い時間に詰め込みすぎたため、選手に負担をかけすぎた。事前の打ち合わせはメール中心であったが、さらにしっかりと準備できればよかった。 •ボッチャに関しても、はじめから計画的に取り組めば、学校行事の中で、全校挙げての大会等ができたかもしれない。これほど児童が関心を示したことは予想外だった。 •I'm POSSIBLE に関して、校内研修の時間をとって行う必要があった。教材の素晴らしさを使った先生しか味わえなかったのは残念。 																				
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> •次年度は、障害者スポーツを重点的に取り上げたい。特に、パラ競技の団体種目の方との交流は、大変教育効果が高いと考える。 																				